

平成 29 年 10 月 25 日付【日本下水道新聞】  
<臨時総会>  
公益社団移行を承認、30 年 4 月目指し

## 水コ協 公益社団移行を承認 臨時総会 30 年 4 月目指し

全国上下水道コンサル  
タント協会（野村喜一会  
長）は 9 月 28 日、第 35 回  
臨時社員総会を開き、第  
34 回定時社員総会で承認  
した公益社団法人移行に  
伴う定款の変更、規則の  
改正について審議、承認  
した。今後、30 年 4 月 1  
日からの移行を目指して  
手続を進める。  
定款の変更では、上下  
水道コンサルタントの資

質向上・育成を図り、上  
水道の発展・事業継続  
に貢献することで、社会  
福祉の増進に寄与するこ  
とを目的として掲げたほ  
か、合わせて事業内容な  
ども修正を加えた。  
野村会長は、臨時総会  
後に記者会見を開き、当  
協会会員への発注者はほ  
ぼ地方自治体で、公益社  
団への移行で安心感を抱  
いていただけると。省庁か

らの認知度も向上し、長  
期的に見れば会員の利益  
にもつながる。今まで以  
上に事業が一般市民の方  
々と密接になるが、講演  
会や講習会のほか、HP  
に掲載している諸資料も  
一般向けに広げていく」

と述べた。

水コ協では平成 23 年  
11 月に一般社団へ移行す  
る際、公益社団への移行  
を「他協会の動向も踏ま  
えて改めて検討する」こ  
とにしていたが、28 年 5  
月の理事会で発議があ  
り、公益社団への移行を  
検討していた。

その結果、水コ協が  
将来的な既存業務減少や  
コンサルの役割・責任の  
変化、新たな担い手確保  
などの中長期的な課題を  
踏まえて活動していくの  
には、公益社団へ移行す  
ることが活動領域の拡大  
・発展、会員の地位向上  
につながるとし、第 34 回  
総会で移行を審議、承認  
していた。